



2017年11月30日

各位

会社名 株式会社ツムラ
代表者名 代表取締役社長 加藤 照和
(コード番号 4540 東証第一部)
問合せ先 コーポレート・コミュニケーション室長 鈴木 登
TEL 03 - 6361 - 7100

天津盛実百草中薬科技（中国）との合弁会社設立に関する契約締結のお知らせ

当社は2017年11月30日に開催された取締役会において、当社の100%子会社である津村（中国）有限公司（以下、津村中国）と天津盛実百草中薬科技股份有限公司（以下、盛実百草）の2社の出資による合弁会社設立に関する契約（以下、合弁契約）の締結について決議しましたことをお知らせいたします。

1. 合弁会社設立の目的

盛実百草は、当社漢方製剤用原料生薬の中国における主要調達先として、2011年の開業当初から当社グループと取引をしております。同社とは2016年5月11日に包括的な業務提携契約を締結し、原料生薬の供給・調達、生薬栽培・加工に関する研究、生薬品質管理、生薬産地の統括管理及び中国刻み生薬（飲片）事業を協力して推進してまいりました。

日本国内における当社漢方製剤の使用量増加に対応するため、今後の増産体制を検討する中で、原料生薬の調達等の機能を有し、当社との取引実績及び信頼関係のある盛実百草と連携することが合理的であると判断し、このたび、盛実百草と漢方製剤の中間体である漢方エキス粉末の製造を担当する合弁会社を中国天津市に設立することについて、合意いたしました。

当社は、2016年5月に公表した「新中期経営計画（2016年度－2021年度）“漢方”のイノベーションによる新たな価値の創造」において、「中国における新規ビジネスへの挑戦」を重要な戦略課題の一つとして位置づけており、漢方製剤用原料生薬の主要調達国である中国及び中国国民の健康にも貢献したいという思いで取り組んでおります。将来的には、合弁会社による中国国内市場向け中成薬の製造販売事業への参入も検討いたします。

なお、合弁契約は2017年12月20日の盛実百草の株主総会において承認された後、締結いたします。

2. 設立する子会社の概要（予定）

(1) 名称	津村盛実製薬有限公司 (英文社名：TSUMURA SHENGSHI PHARMACEUTICALS CO., LTD.)
(2) 所在地	中国天津市
(3) 代表者の役職・氏名	董事長 李剛
(4) 事業内容	漢方製剤の中間体である漢方エキス粉末、中成薬、中薬エキス粉末の製造

(5) 資本金	400 百万 RMB (約 67.6 億円) 1RMB=16.91 円
(6) 設立年月日	2018 年 1 月 (予定)
(7) 決算期	毎年 12 月 31 日
(8) 出資比率	津村中国 70% 盛実百草 30%

3. 津村中国の概要

(1) 名称	津村 (中国) 有限公司
(2) 所在地	中国 (上海) 自由貿易試験区郭守敬路 276 号五幢 2 層 A 区
(3) 代表者の役職・氏名	董事長 戸田光胤
(4) 事業内容	中国の当社グループ各社の経営管理及びそれに付帯・関連する業務
(5) 資本金	300 百万 RMB (約 50.7 億円) 1RMB=16.91 円

4. 合弁相手先の概要

(1) 名称	天津盛実百草中薬科技股份有限公司
(2) 所在地	中国天津市濱海高新区濱海科技园高福道 18 号 2 楼 206
(3) 代表者の役職・氏名	董事長 李剛
(4) 事業内容	生薬の調達・加工・販売事業
(5) 資本金	29 百万 RMB (約 4.9 億円) 1RMB=16.91 円
(6) 設立年月日	2011 年 7 月 13 日
(7) 大株主及び持株比率	李剛 (当該会社の董事長) 65.82%
(8) 当社と当該会社との関係	
資本関係	該当事項はありません。
人的関係	当社執行役員 1 名を当該会社に董事として派遣しております。
取引関係	当社の漢方製剤用原料生薬を主に当該会社で調達しております。
関連当事者への該当状況	当該会社は、当社の関連当事者には該当しません。また、当該会社の関係者及び関係会社は、当社の関連当事者には該当しません。

5. 日程

(1) 取締役会決議日	2017 年 11 月 30 日
(2) 合弁契約締結日	2017 年 12 月 20 日 (予定)
(3) 合弁会社設立日	2018 年 1 月 (予定)

6. 今後の見通し

本合弁会社設立による 2018 年 3 月期の当社連結業績に与える影響は軽微であります。

以上